

平成28年第2回度鹿児島県男女共同参画審議会の会議結果の概要

開催日時	平成29年1月20日（金）午後2時～午後4時		
開催場所	県庁10階 10-総-1会議室		
出席委員	石田尾 博夫, 小栗 有子, 田畑 千穂子, 澤田 たみ子, 下夷 憲一 末永 順子, 武隈 晃, 田中 佐和子, 谷口 真由美, たもつ ゆかり 恒吉 洋志, 淵上 真友美, 前田 幸一, 牟田 京子 (計14人)		
公開・非公開の別	公開	傍聴者数	0人
問い合わせ先	県民生活局 男女共同参画室（直通電話：099-286-2634）		
<p>1 報告事項</p> <p>(1) 第2次県男女共同参画基本計画の実施状況</p> <p>(2) 県男女共同参画センター事業の概要</p> <p>(3) 県女性活躍推進計画（仮称）素案</p> <p>2 協議事項</p> <p>(1) 第2次県男女共同参画基本計画の中間評価について</p> <p>(2) 専門部会の設置について</p>			
<p>会議の概要</p> <p>1 報告事項について</p> <p>○ 第2次県男女共同参画基本計画の実施状況等について、委員から了承を得た。 委員からの主な意見については次のとおり。</p> <p>① 子どもたちの男女共同参画学びの広場事業について、学校の現状は、まだ男女共同参画が進んでいない。LGBT、性的マイノリティの生徒もいるので、このようなワークショップ事業等を拡大してもらいたい。</p> <p>○ 女性活躍推進計画（仮称）の素案について、委員から了承を得た。 委員からの主な質問、意見については次のとおり</p> <p>① 保育所の待機児童数について平成29年度に待機児童数を0にするとあるが、どのような取組を行うのか。大企業の中には企業内に保育所を設置するという動きもあり、ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業では離職率も低くなっているため、そういった取組も必要になると思う。</p> <p>② 子どもを持ち、働き続けていく上では、夫婦だけでなく家族の支えが必要になってくると思う。</p> <p>2 協議事項について</p> <p>○ 第2次基本計画の中間評価に関する専門部会での検討結果等について、部会長から報告を行い、中間評価報告書（案）について事務局から具体的内容の説明を行った。委員からは概ね了承を得た。委員からの主な質問、意見は次のとおり</p> <p>① 男女共同参画地域推進員について全市町村での設置を目標としているが、地域推進員はどのような活動をしているのか、活動の様子を実際にみることはできるのか。</p> <p>② 各市町村の地域推進員が増えるように、県からも各市町村へ引き続き働きかけをしていく必要がある。</p> <p>③ 労働力に関する統計指標について、非正規雇用から正規雇用への転換率、再就職者の離職率など、一時的な女性の活用ではなく長期的な採用率がわかるようなものがあるとわかりやすい。</p> <p>④ 小学校に上がった段階で既に「男の子らしく」、「女の子らしく」とすり込まれていることも多い。保育士等を対象に男女共同参画を正しく理解し、幼児教育の段階で男女共同参画の視点をもった教育を推進するための研修等も必要である。</p> <p>⑤ 社会教育の家庭学級などの地域の学びを、一般行政が行う事業につなげていただきたい。子どもたちが育つのは学校の中だけではなく、地域や家庭の中での学びも大切である。次期計画策定の際は、そのような視点も考慮してもらいたい。</p> <p>⑥ 次期計画では、策定時に評価の対象とするかどうか、事業実施による男女共同参画に及ぼす効果等について精査する必要がある。</p> <p>⑦ 第1次基本計画の評価時と比較して、担当課による一次評価が格段に男女共同参画の視点に立った内容になっていると感じた。</p> <p>○ 専門部会の設置について委員から了承を得た。</p>			